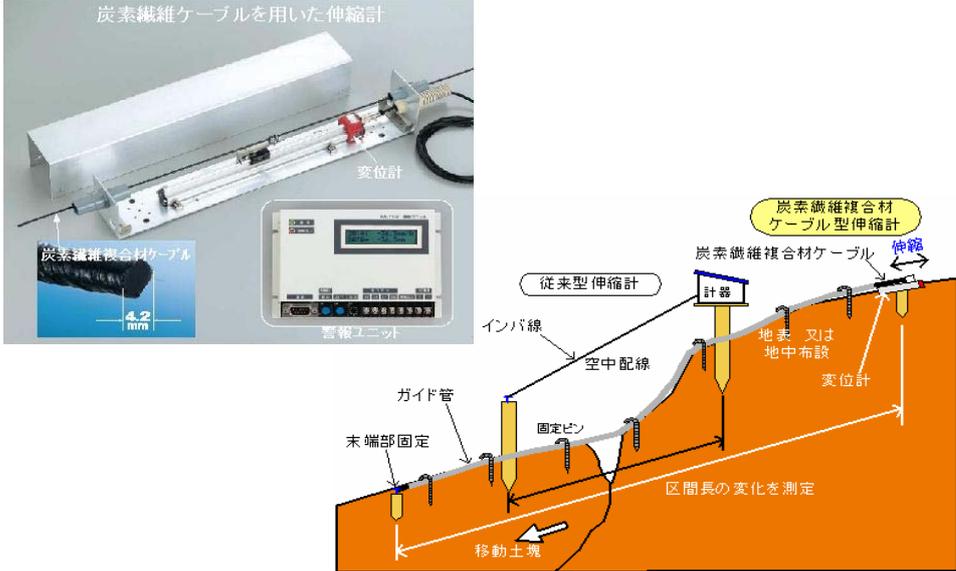


技術名称(商品名)	炭素繊維ケーブルを用いた地盤伸縮計(フレキシブル伸縮計)
会社名	株式会社興和
技術・システムイメージ (商品写真など)	
技術の概要説明	<ul style="list-style-type: none"> ・設置が簡単で屈曲配置ができる地盤伸縮計です。 ・従来のインバ線の代わりに、直径約4mmのフレキシブルな炭素繊維ケーブルを採用しているため、地表面や地中に屈曲配置ができます。 ・変位センサの測定範囲は、0～300mm(標準)。最大1500mm(オプション)。 ・DC12Vバッテリーで駆動します。 ・記録器(警報ユニット)は、警報判定機能と警報出力端子を備えているので、サイレンや回転灯を接続して警報をだせます。 ・記録器(警報ユニット)は、通信ポートを備えているので、無線や携帯電話パケット通信網を利用した遠隔自動監視にも対応します。
技術の特徴(PRする点)	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のインバ線のように一直線に張る必要がなく、空中部に設置するものがないので、空中部の防護設備(杭や塩ビ管など)や大掛かりな雪囲い設備が不要です。 ・地表面や地中に設置するので、現場内での往来の妨げにならず、積雪や風雨、動植物などの外的要因の影響を大幅に軽減することができます、安定した計測ができます。
用途	斜面監視全般(地すべり、斜面崩壊、切土・盛土法面等の地盤変位計測)
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・導入コスト:約30万円(20mの場合 機材費) ・ランニングコスト:バッテリー代や電気代以外、特に必要なし ・リース対応可能
担当窓口連絡先	株式会社興和 先端技術部 笹川、大川 電話:025-281-8818 E-Mail:t-sasagawa@kowa-net.co.jp
その他	NETIS登録:No. HR-080014-A